

事務事業 事後評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	林道施設維持管理事業				事業通番	4175	
					開始年度	--	
総合計画体系	政策	4	政策名	元気と賑わいのある産業づくり	終了年度	--	
	施策	4-2	施策名	林業の振興	担当課名	産業振興課	
予算科目	会計	一般会計		款	農林水産業費	担当係名	農林土木係
	項	林業費		目	林道整備事業費	重点プロジェクト	

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	会津美里町林道管理規程
事務事業の概要	林道パトロールを実施し、現況を確認したうえで林道施設の修繕等を実施。また、路肩の刈払いや側溝清掃等を委託する。
対象（誰、何を）	会津美里町管理林道・作業道利用者
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	安全に利用できるようにする。
成果の考え方	林道を整備し安全に利用出来ることで林業の活性化、山林の有効活用につなげたい。
【成果指標】	
A 整備不良による事故件数	単位 件
B -	-

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移

区分	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	31年度(決算)	2年度(決算)
事業費(千円)	10,934	5,596	6,350	4,160	6,397
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他					
一般財源	10,934	5,596	6,350	4,160	6,397

(2) 指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度
A	-	0	0	0	0
	0	0	0	0	0
B	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-

(3) 活動実績及び成果

活動実績	林道パトロールを37回、路肩の刈払いや側溝清掃等を13件実施した。
成果	通行に支障がある箇所については、通行止めの看板を設置したため目立った事故は発生しておらず、除草や修繕等により利用者の安全が確保できた。

3. 最終評価

【事業実施の方向性】	
<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合等を検討 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合	
【今後の改善方針】	
定期的にパトロールを行い安全管理を徹底する。	
成果の方向性	拡充 (理由) 除草委託やパトロール、危険箇所の修繕等を早め実施し、利用者の安全を確保する。

事務事業 事後評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	森林病虫害等防除事業				事業通番	5213	
					開始年度	--	
総合計画体系	政策	4	政策名	元気と賑わいのある産業づくり	終了年度	--	
	施策	4-2	施策名	林業の振興	担当課名	産業振興課	
予算科目	会計	一般会計		款	農林水産業費	担当係名	農林土木係
	項	林業費		目	林業振興費	重点プロジェクト	

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	森林病虫害等防除法
事務事業の概要	森林病虫害等防除法に基づき、保全すべき森林において被害を沈静化させるため駆除・予防する。
対象（誰、何を）	保全すべき森林
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	森林病虫害による被害木の伐倒くん蒸処理及び保全すべき森林の薬剤防除が実施されている。
成果の考え方	森林病虫害による被害の拡大を防ぎ、被害範囲を最小限に抑える。
【成果指標】	
A 被害木の駆除材積	単位 m ³
B 地上散布実施面積	ha

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移

区分	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	31年度(決算)	2年度(決算)
事業費(千円)	4,161	3,075	4,177	3,051	4,472
国庫支出金					
県支出金	3,034	2,241	3,080	2,235	3,283
地方債					
その他					
一般財源	1,127	834	1,097	816	1,189

(2) 指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度
A	-	20	10	10	10
	26.07	21.43	20	20.01	20
B	-	25	25	25	25
	25	18.16	25	17.17	25

(3) 活動実績及び成果

活動実績	被害木の駆除材積 20 m ³ 地上散布実施面積 25 h a
成果	森林病虫害による被害の拡大を抑えることができた。

3. 最終評価

【事業実施の方向性】	
<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合等を検討 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合	
【今後の改善方針】	
オオタカの営業時期以外に事業実施が可能か検討するとともに、被害状況を的確に把握し事業に繋げていく。	
成果の方向性	現状維持 (理由) 被害を未然に防ぐことにより良好な森林環境を維持する。

事務事業 事後評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	森林環境交付金事業（基本枠）				事業通番	5240	
					開始年度	平成18年度	
総合計画体系	政策	4	政策名	元気と賑わいのある産業づくり	終了年度	--	
	施策	4-2	施策名	林業の振興	担当課名	産業振興課	
予算科目	会計	一般会計		款	農林水産業費	担当係名	農林土木係
	項	林業費		目	林業振興費	重点プロジェクト	

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	県森林環境税条例、県森林環境基金条例、県森林環境交付金交付要綱、県森林環境交付金事業実施要領					
事務事業の概要	森林環境税を原資とし、森林観察教室、木工クラフト教室など森林環境学習などを行う。 【補助率：県100%】					
対象（誰、何を）	町内小中学校児童生徒					
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	森林の大切さを学ぶ。					
成果の考え方	森林の大切さを学ぶことができた児童生徒数を把握するには多大な手間や労力を要するため、森林環境学習開催回数、森林環境学習参加人数を成果指標に設定した。					
【成果指標】						単位
A 森林環境学習開催回数						回
B 森林環境学習参加人数						人

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移

区分	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	31年度(決算)	2年度(決算)
事業費(千円)	4,175	4,132	4,130	4,198	4,444
国庫支出金					
県支出金	4,131	4,123	4,122	4,172	4,405
地方債					
その他					
一般財源	44	9	8	26	39

(2) 指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度
A	-	29	30	30	30
	30	29	30	30	28
B	-	1,182	1,152	1,170	1,152
	932	922	879	1,010	830

(3) 活動実績及び成果

活動実績	森林の大切さを学習するため、森林環境学習を延べ28回開催し、800人の参加者があった。
成果	森林環境学習により森林に対する理解を深めることができた。

3. 最終評価

【事業実施の方向性】	
<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合等を検討 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合	
【今後の改善方針】	
他市町村の事例等収集を実施し、各学校に情報提供することにより児童生徒が森林や木材など自然に触れ合う機会を増やす。	
成果の方向性	現状維持 (理由) 森林環境学習を継続することで、森林の大切さや環境問題に対する理解を深めてもらう。

事務事業 事後評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	ふくしま森林再生事業				事業通番	15009	
					開始年度	平成29年度	
総合計画体系	政策	4	政策名	元気と賑わいのある産業づくり	終了年度	--	
	施策	4-2	施策名	林業の振興	担当課名	産業振興課	
予算科目	会計	一般会計		款	農林水産業費	担当係名	農林土木係
	項	林業費		目	林業振興費	重点プロジェクト	

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	ふくしま森林再生事業補助金交付要綱 ふくしま森林再生事業実施要領
事務事業の概要	福島第一原子力発電所事故による放射性物質拡散の影響で停滞している森林整備・林業生産活動を活性化させるため、間伐等の森林整備、表土流出防止対策等の放射性物質対策を一体的に実施し、森林の有する多面的機能を維持しながら放射性物質の低減、拡散防止を図る。
対象（誰、何を）	民有林
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	間伐等の施策が実施される。
成果の考え方	施業地の実施計画を策定し、それに基づき間伐等の施策が実施される。
【成果指標】	
A 年度別計画面積	単位 ha
B 間伐等の施業面積	ha

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移

区分	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	31年度(決算)	2年度(決算)
事業費(千円)		32,945	86,044	41,381	88,291
国庫支出金					
県支出金		32,924	72,431	37,332	78,706
地方債					
その他					
一般財源		21	13,613	4,049	9,585

(2) 指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度
A	-	20	20	20	20
B	-	32	8.97	24.06	22.15
	-	0	12.3	20	10
	-	0	29.38	3.27	5.97

(3) 活動実績及び成果

活動実績	①年度別計画作成業務委託施行により22.15ha分の計画を作成することができた。 ②森林整備業務委託施行により、5.97haの森林整備(間伐)を実施した。
成果	①計画作成により、次年度の円滑な森林整備施行の準備が整った。 ②森林整備の施行により、町森林の施業率が向上した。

3. 最終評価

【事業実施の方向性】	
<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合等を検討 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合	
【今後の改善方針】	
森林の所有者と施業者との信頼関係を構築しながら事業を推し進めていく。	
成果の方向性	現状維持 (理由) 森林の持つ多面的機能の維持を図るため、適切に森林整備を進めながら持続可能な森林社会を構築していく。

事務事業 事後評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	森林環境交付金事業（重点枠）				事業通番	15331	
					開始年度	平成30年度	
総合計画体系	政策	4	政策名	元気と賑わいのある産業づくり	終了年度	--	
	施策	4-2	施策名	林業の振興	担当課名	産業振興課	
予算科目	会計	一般会計		款	農林水産業費	担当係名	農林土木係
	項	林業費		目	林業振興費	重点プロジェクト	

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	福島県森林環境交付金事業実施要領、県森林環境条例、県森林環境基金条例、県森林環境交付金交付要綱					
事務事業の概要	小中学校1年生を対象に地元産材を用いた机とイスを支給する。 【補助率：県50%】 新鶴こども園改築工事にともなう県産材利用 【補助率：県100% 上限1,000万円】					
対象（誰、何を）	高田小学校1年生、新鶴小学校1年生、本郷中学校1年生					
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	身近に生産された天然素材である木材のぬくもりの心地よさに触れることで森林の大切さを学ぶ。					
成果の考え方	森林の大切さを学ぶことができた児童生徒数を把握するには多大な手間や労力を要するため、県産材を用いた机や椅子、おもちゃの数を成果指標に設定した。					
【成果指標】						単位
A 机・イス						セット
B 県産材材料						一式

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移

区分	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	31年度(決算)	2年度(決算)
事業費(千円)			3,596	3,029	4,343
国庫支出金					
県支出金			1,798	1,514	12,171
地方債					
その他					
一般財源			1,798	1,515	-7,828

(2) 指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度
A	-	-	87	100	159
B	-	-	6,000	1,500	1

(3) 活動実績及び成果

活動実績	<ul style="list-style-type: none"> 高田小学校、新鶴小学校及び本郷中学校の1年生を対象に県産材を用いた机と椅子を支給した。 新鶴こども園改築工事に伴う建築材料として、県産材を納入した。
成果	<p>児童と幼児に県産材を用いた木製品を支給することにより木材のぬくもりの心地よさに触れ、森林の大切さを学ぶ機会となった。</p> <p>また、令和4年度完成予定の新鶴こども園に県産材材料を納入したことにより、開園後、園児や保護者が木に触れ合う機会を作ることができた。</p>

3. 最終評価

【事業実施の方向性】	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合等を検討 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合		
【今後の改善方針】	学校等へ椅子などの木製品導入を継続し、児童生徒に木材に触れる機会を増やす。		
成果の方向性	現状維持	(理由) 児童生徒が木に触れる機会を増やすことにより、木の良さや森林への理解を深めるため。	

事務事業 事後評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	森林資源活用推進事業（林道開設）				事業通番	15333	
					開始年度	平成31年度	
総合計画体系	政策	4	政策名	元気と賑わいのある産業づくり	終了年度	令和3年度	
	施策	4-2	施策名	林業の振興	担当課名	産業振興課	
予算科目	会計	一般会計		款	農林水産業費	担当係名	農林土木係
	項	林業費		目	林道整備事業費	重点プロジェクト	

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	森林法
事務事業の概要	森林資源の活用を進めるため、林道整備を推進する。
対象（誰、何を）	林道密度
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	林道整備で密度を高めることにより、林地からの木材搬出が容易になる。
成果の考え方	森林資源の活用拡大が図られる。
【成果指標】	単位
A 林道密度	m/ha
B 林産物素材生産総数	m ³

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移

区分	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	31年度(決算)	2年度(決算)
事業費(千円)				22,685	19,197
国庫支出金					
県支出金				14,697	13,303
地方債					
その他					
一般財源				7,988	5,894

(2) 指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度
A	-	-	-	5.69	5.71
	-	-	-	5.68	5.68
B	-	-	-	6,023	6,023
	-	-	-	7,994	10,723

(3) 活動実績及び成果

活動実績	<ul style="list-style-type: none"> 林業専用道大滝線支線の全体計画を作成し、今後の林道開設計画を決定した。 令和元年度繰越事業として林業専用道源田谷線を520m開設した。
成果	<ul style="list-style-type: none"> 次年度以降の速やかな林業専用道開設工事着手の準備が整った。 林道密度が向上しただけでなく、林業専用道源田谷線を活用した森林整備も行われた。

3. 最終評価

【事業実施の方向性】	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合等を検討 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合		
【今後の改善方針】	森林資源量や開設コストの検討などを十分行い、適切な箇所を選定することで事業効果を高める。		
成果の方向性	拡充	(理由)	森林資源の有効活用を図り持続可能な森林社会を目指す。

事務事業 事後評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	特用林産物振興支援事業				事業通番	15334	
					開始年度	平成30年度	
総合計画体系	政策	4	政策名	元気と賑わいのある産業づくり	終了年度	--	
	施策	4-2	施策名	林業の振興	担当課名	産業振興課	
予算科目	会計	一般会計		款	農林水産業費	担当係名	農林土木係
	項	林業費		目	林業振興費	重点プロジェクト	

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	会津美里町特用林産物振興支援事業補助金交付要綱					
事務事業の概要	特用林産物の振興を図るため、新規又は規模拡大にかかる施設や資材等の購入を支援する。					
対象（誰、何を）	町内の特用林産物生産者					
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	新規精算や規模拡大に取り組みやすくなる。					
成果の考え方	特用林産物生産量が増加する。					
【成果指標】						単位
A 生しいたけの生産量						kg
B -						-

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移

区分	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	31年度(決算)	2年度(決算)
事業費(千円)			0	900	100
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他					
一般財源			0	900	100

(2) 指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度
A	-	-	67,100	67,100	67,100
	-	-	37,800	39,980	38,492
B	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-

(3) 活動実績及び成果

活動実績	特用林産物の栽培に取り組む1人の農林業者に対して100,000円の補助金を交付した。
成果	補助金を活用し栽培に取り組むことで特用林産物生産量が増加した。

3. 最終評価

【事業実施の方向性】	
<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合等を検討 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合	
【今後の改善方針】	
生産者団体との連携を図り効果的な支援策を検討検討するとともに、引き続き生産者の支援を図り、生産量の増加を目指す。	
成果の方向性	現状維持 (理由) 引き続き生産者の育成支援を図り、生産量の増加を目指す。

事務事業 事後評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	森林環境整備促進事業				事業通番	15556	
					開始年度	平成31年度	
総合計画体系	政策	4	政策名	元気と賑わいのある産業づくり	終了年度	--	
	施策	4-2	施策名	林業の振興	担当課名	産業振興課	
予算科目	会計	一般会計		款	農林水産業費	担当係名	農林土木係
	項	林業費		目	林業振興費	重点プロジェクト	

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	森林環境譲与税、会津美里町森林環境基金条例 森林経営管理法					
事務事業の概要	森林環境譲与税を活用し、森林の有する公益的機能の維持増進を図るため、間伐などの森林整備を促進する。					
対象（誰、何を）	民有林					
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	間伐などの森林整備が適切に実施される。					
成果の考え方	森林資源の利用拡大が図られる。					
【成果指標】					単位	
A	林産物素材生産総数					m ³
B	-					-

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移

区分	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	31年度(決算)	2年度(決算)
事業費(千円)				7,770	14,311
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他				7,769	14,311
一般財源				1	0

(2) 指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度
A	-	-	-	6,023	6,023
	-	-	-	7,992	10,723
B	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-

(3) 活動実績及び成果

活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・箕作地区及び中の山・仏沢地区において意向調査業務が完了した。 ・毎月町広報紙1日号に記事掲載を行うだけでなく複数回の特集記事掲載を行い、林業に関する事項の啓発活動を行った。
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の経営管理権集積計画作成による意欲と能力のある林業経営体への速やかな再委託の準備が整った。 ・興味や関心をもつ方が増えたことにより、林業に関する問い合わせが増加した。

3. 最終評価

【事業実施の方向性】	
<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合等を検討 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合	
【今後の改善方針】	
意向調査地区の選定に関しては事業効果の高い地区を先行することとし、経営管理権集積計画策定についても併せて進めることにより基金積立額を低く抑えるよう計画的に執行する。	
成果の方向性	現状維持 (理由) 森林整備を促進することにより、資源の有効活用と森林の適正管理を目指す。